

### 松林の保全について

問 今年の松喰い虫による被害状況はどうか

答 市内の松枯れによって伐採した量は、平成13年度は800㎡、4、900㎡、平成14年度は1、400㎡、9、700㎡、平成15年度は、1、700㎡、13、000㎡と年々増加している。今年も昨年以上の被害が発生していると推測される。

問 燻蒸処理後の伐倒材の放置が多くなっているが、二次的な被害が起きているのでは

答 被害木の処理は、破碎と燻蒸の2種類の方法で行っている。伐倒して持ち出せない箇所では、その場で松喰い虫を駆除する燻蒸処理で対応しているが、その場に集積して

置くため、腐植化が進み、カビや細菌、虫類が増殖し、土地の肥沃化で雑草や雑木が生い茂り松の樹勢を弱めていることは考えられる。

問 現在の駆除方法では、手詰まりではないか 新たな方策は また、補正予算を組み徹底してやる気は

答 今年2千万円余りの事業費をかけて、駆除を行っているが、この状態であり特効薬は見当たらないのが現状である。土壌の管理や下草刈、間伐等の林床整備をし、行政と関係者が一体になり新たな対策について研究を進めていく必要があると考えている。又、その為の補正予算も検討しながら対処していきたい。



### 市の観光について

問 御前崎サンホテルの閉館が新聞にて発表され、御前崎の観光に与える影響は非常に大きい。3年後には、静岡空港が開港、商工会では伊豆と結ぶ定期高速海上航路研究等一層の観光発展に努めている中、観光協会長でもあります市長の考えをお聞きしたい

答 長引く不況と観光志向の多様化などで、御前崎サンホテルが閉館することは大変残念です。協会としては、観光業者と連携してマリンスポーツ大会の誘致、各種イベントの開催、宣伝活動、観光施設の充実や、体験型の観光を含む自然ガイドの育成に努め、新たな観光地としての魅力を高めたい。

### 国道150号

#### 整備について

問 国道150号で新野川西側より西方向の4車線化が始まる様子がないが、一番混み合う道路なので、早期完成を期待している。大東町の境から病院入り口の信号機まで4車線化されればと市民は思っている。市の事情でもあるのか 市長にお伺いします

答 切迫した県財政のありを受け、毎年割り当てられる予算が、期待を大きく下回るものとなっていましたが、本年度新たに制度化された「合併支援重点道路整備事業」によりこの問題も大きく前進するのではないかと考えている。国道150号は、本地域には最重要道路でありますので、今後とも国や県に対して強力に働きかけていく。